

## 国東市畜産組合設立総会

7月20日(金)午前10時から、国東町小原のいこいの村国東で、国東市畜産組合の設立総会が、組合員や来賓、関係者約50名が参加して開催されました。

同組合は、各町の畜産和牛生産組合・研究会の解散に伴い、市内の畜産農家相互の連携の強化、技術の向上を図り、経営における安定、発展をめざすために、組合員36名で設立されました。

総会では、設立発起人代表の岐部和生さんのあいさつに続き、野田侃生市長、猪俣俊雄市議会議長をはじめ来賓の皆さんが祝辞を述べた後、規約や事業計画、予算などについて協議。初代組合長に加藤哲也さん(安岐町)を選出しました。



▲「組合員の皆さんと一緒に、国東の畜産発展のために頑張ります。」とあいさつする加藤組合長



▲総会では、各種畜産共進会の参加をはじめとする事業計画や予算について協議されました

## 農業委員の交代

農業委員の農業共済組合推薦委員であった神田文好さん(国東町)の退任により、新任として、安部平さん(安岐町)が6月1日付で就任しました。



安部 平 委員  
(安岐町掛樋)  
担当地区：山浦・橋上・掛樋

## 椎茸国東の面目躍如!!

### 亡き主人が取らせてくれた農林水産大臣賞

このほど静岡県で行われた第55回全国乾しいたけ品評会「香菇(こうこ)の部」で全国一にあたる農林水産大臣賞を受賞した国見町西方寺の小野三耶子さん(63歳)。国東市からの受賞は、実に21年ぶりのことで、今回の快挙に小野さんは、「びっくりしました。昨年10月に37年間連れ添った夫(欽三さん・享年66歳)に先立たれて、椎茸栽培もやめようかと思っていたんですが、まだやめるなという主人からのメッセージなんですかねえ。」と笑う。



▲野田市長に受賞報告に訪れた竹中さん(左)と小野さん(右)

7月7日(土)には、豊後大野市での表彰式に参加し、7月10日(火)には、同品評会の「茶花冬茹(ちゃばなどんこ)の部」で林野庁長官賞を受賞した安岐町成久の竹中秀徳さんとともに、野田侃生市長に受賞の報告に市役所を訪れました。

小野さんの話。「昨年まで、森121とゆう次郎という品種を7万個接種していました。今回の受賞は、今でも夢みたくです。主人が生きていれば、どんなに喜んだらうかと少し残念な気がしますが、今回の受賞を励みに、少しでも長く椎茸栽培を続けていきたいと思います。ここ西方寺地区は、椎茸栽培の上手な人がたくさんいます。力作業が多いので、高齢化が進んでいるため先行きが少し心配です。今は、椎茸の単価もキロ当たり4千円を超えていて、経営的には恵まれてきました。これからも、自分の心に正直に少しずつですが頑張ります。」



▲農林水産大臣賞の受賞を喜ぶ小野三耶子さん